



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月4日

上場会社名 佐藤食品工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2814 URL <https://www.sato-foods.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 上田 正博
 問合せ先責任者（役職名） 管理部長（氏名） 那須 智（TEL）0568-77-7316
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第1四半期の業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,440	5.4	142	△10.9	207	△5.7	164	21.3
2023年3月期第1四半期	1,366	3.1	160	△22.2	220	△15.0	135	△21.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	40.62	40.21
2023年3月期第1四半期	32.21	31.93

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	20,954	19,273	91.8
2023年3月期	20,491	19,041	92.7

（参考）自己資本 2024年3月期第1四半期 19,231百万円 2023年3月期 19,000百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
2024年3月期	—				
2024年3月期(予想)		15.00	—	20.00	35.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,784	△0.2	94	△63.3	154	△51.6	120	△43.2	29.65
通期	5,900	0.3	450	△27.1	540	△29.3	449	16.9	110.91

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	9,326,460株	2023年3月期	9,326,460株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	5,271,432株	2023年3月期	5,271,412株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	4,055,029株	2023年3月期1Q	4,215,048株

(注) 期末自己株式数には、「従業員株式給付信託 (J-ESOP)」の信託財産として(株)日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式 (2024年3月期1Q 160,000株、2023年3月期 160,000株) が含まれております。また、(株)日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(2024年3月期1Q 160,000株、2023年3月期1Q 0株)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7
3. その他	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類へ移行したことで、感染拡大防止のための行動制限が緩和され人流が回復するなど、社会経済活動の正常化が進みました。一方で、物価上昇による実質賃金の減少から消費マインドの低下が懸念されることや、国内外の金利差拡大により円安が進行するなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。海外経済につきましては、欧米を中心とした金融引き締めによる景気の下振れリスクや、ロシア・ウクライナ情勢の長期化などから、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

当社といたしましては、変化、多様化する消費者ニーズや顧客ニーズを的確に把握し、それらのニーズに合致した高付加価値製品の開発を実現すべく、新技術開発や新製法の確立に挑戦していくとともに、高止まりするエネルギーコストおよび原材料コストの動向を注視しながら事業活動を継続してまいりました。

このような状況のもと、当社の当第1四半期累計期間における売上実績は、茶エキスを中心に緩やかな回復基調で推移しました。

茶エキスにつきましては、紅茶エキスが減少したものの、緑茶エキス・ウーロン茶エキス等が増加したため、売上高は653百万円(対前年同四半期比14.6%増)となりました。

粉末天然調味料につきましては、粉末ソース等が増加したものの、粉末鰹節・粉末昆布等が減少したため、売上高は411百万円(同0.2%減)となりました。

植物エキスにつきましては、果実エキス等が減少したため、売上高は173百万円(同5.2%減)となりました。

液体天然調味料につきましては、椎茸エキス等が減少したものの、鰹節エキス等が増加したため、売上高は172百万円(同4.6%増)となりました。

粉末酒につきましては、清酒タイプ等が増加したものの、ラムタイプ・ワインタイプ等が減少したため、売上高は27百万円(同20.1%減)となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,440百万円(同5.4%増)となり、前年同四半期に比べ73百万円増加しました。

利益面につきましては、売上原価の増加により営業利益は142百万円(同10.9%減)、経常利益は207百万円(同5.7%減)となりました。また、法人税等46百万円(同21.8%増)を計上したため、四半期純利益は164百万円(同21.3%増)となりました。

なお、当社は食品加工事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産合計は20,954百万円となり、前事業年度末に比べ462百万円増加しました。

流動資産については12,103百万円となり、前事業年度末に比べ334百万円増加しました。主に、棚卸資産が190百万円、現金及び預金が115百万円、それぞれ増加したことによります。

固定資産については8,851百万円となり、前事業年度末に比べ127百万円増加しました。主に、繰延税金資産が65百万円減少したものの、投資有価証券が221百万円増加したことによります。

負債合計は1,680百万円となり、前事業年度末に比べ230百万円増加しました。

流動負債については1,538百万円となり、前事業年度末に比べ158百万円増加しました。主に、賞与引当金が70百万円減少したものの、仕入債務が140百万円、未払法人税等が32百万円、それぞれ増加したことによります。

固定負債については142百万円となり、前事業年度末に比べ72百万円増加しました。主に、従業員株式給付引当金として72百万円計上したことによります。

純資産合計は19,273百万円となり、前事業年度末に比べ231百万円増加しました。主に、配当金の支出により84百万円減少したものの、四半期純利益164百万円を計上し、その他有価証券評価差額金が151百万円増加したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、当第1四半期累計期間において、人流の回復に伴って飲料需要が増加するなどして茶エキスの販売が堅調に推移した結果、営業利益及び経常利益並びに当期純利益が、第2四半期累計期間業績予想値を上回っておりますが、包装資材を含む原材料コストが当初想定よりも上昇しており、原材料コストの負担増による利益率の低下が懸念されることや、エネルギーコストの高止まりなど、先行きの見通しが困難な状況にあることから、現時点においては2023年5月12日に公表いたしました業績予想を据え置くことといたします。

なお、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があるため、今後、業績予想の修正が生じる場合は、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,005,793	9,121,041
受取手形及び売掛金	1,207,468	1,179,546
製品	735,053	803,791
仕掛品	374,367	450,419
原材料及び貯蔵品	382,496	427,999
その他	63,348	120,588
貸倒引当金	△370	△360
流動資産合計	11,768,158	12,103,027
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,407,577	1,394,928
機械及び装置(純額)	809,666	793,096
土地	2,558,304	2,558,304
建設仮勘定	8,273	6,659
その他(純額)	129,309	128,212
有形固定資産合計	4,913,130	4,881,200
無形固定資産	29,737	28,559
投資その他の資産		
投資有価証券	3,399,878	3,621,200
破産更生債権等	1,408,334	1,408,323
繰延税金資産	81,995	16,441
その他	298,774	303,617
貸倒引当金	△1,408,334	△1,408,323
投資その他の資産合計	3,780,649	3,941,259
固定資産合計	8,723,517	8,851,018
資産合計	20,491,675	20,954,045

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	310,053	450,728
短期借入金	670,000	670,000
未払金	97,019	92,807
未払法人税等	29,609	61,943
賞与引当金	132,000	61,497
その他	141,452	201,705
流動負債合計	1,380,133	1,538,683
固定負債		
役員退職慰労引当金	14,580	14,580
従業員株式給付引当金	—	72,074
資産除去債務	55,649	55,649
固定負債合計	70,229	142,303
負債合計	1,450,362	1,680,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,672,275	3,672,275
資本剰余金	4,439,113	4,439,113
利益剰余金	13,514,596	13,595,024
自己株式	△3,663,979	△3,664,013
株主資本合計	17,962,006	18,042,399
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,038,094	1,189,447
評価・換算差額等合計	1,038,094	1,189,447
新株予約権	41,212	41,212
純資産合計	19,041,312	19,273,058
負債純資産合計	20,491,675	20,954,045

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	1,366,430	1,440,138
売上原価	986,072	1,064,345
売上総利益	380,358	375,793
販売費及び一般管理費	220,183	233,074
営業利益	160,174	142,718
営業外収益		
受取利息	263	263
有価証券利息	98	123
受取配当金	58,931	63,977
貸倒引当金戻入額	20	20
その他	1,852	1,594
営業外収益合計	61,165	65,979
営業外費用		
支払利息	922	939
その他	1	0
営業外費用合計	923	939
経常利益	220,417	207,758
特別利益		
受取損害賠償金	491	3,186
特別利益合計	491	3,186
特別損失		
損害賠償金	1,309	—
固定資産除却損	290	0
投資有価証券評価損	45,576	—
特別損失合計	47,176	0
税引前四半期純利益	173,732	210,945
法人税等	37,959	46,217
四半期純利益	135,773	164,728

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2022年11月4日開催の取締役会決議に基づき、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」(以下「本制度」といい、本制度に関してみずほ信託銀行株式会社と締結する信託契約に基づいて設定される信託を「本信託」といいます。)を2022年11月25日より導入しております。

(1) 本制度の概要

本制度は、米国のESOP(Employee Stock Ownership Plan)制度を参考にした信託型のスキームであり、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。当社は、従業員に対し勤続年数に応じたポイントを、加えて管理職には管理職ポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式を付与します。管理職を含めた従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとします。本制度に係る当第1四半期会計期間末の負担見込額については、従業員株式給付引当金として計上しております。

(2) 本信託に残存する自社の株式

本信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第1四半期会計期間末の本信託に残存する当社株式の帳簿価額は257,120千円、株式数は160,000株であります。

(セグメント情報)

当社は、食品加工事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期累計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
茶エキス	692,539	14.8
粉末天然調味料	517,751	14.5
植物エキス	179,696	△9.4
液体天然調味料	170,538	3.5
粉末酒	25,909	6.9
合計	1,586,435	9.9

(注)金額は、販売価格によっております。

②受注実績

当社は、見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

③販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
茶エキス	653,577	14.6
粉末天然調味料	411,853	△0.2
植物エキス	173,570	△5.2
液体天然調味料	172,630	4.6
粉末酒	27,101	△20.1
その他	1,405	△16.2
合計	1,440,138	5.4

(注)主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
(株)伊藤園	175,113	12.8	196,918	13.7
風商事(株)	127,670	9.3	188,747	13.1
三菱商事ライフサイエンス(株)	136,620	10.0	165,954	11.5